

令和3年度（2021）デイサービスにじのご赤堤事業者・保護者アンケート 集計・分析結果

共通項目	チェック項目	事業者アンケート（8名中8名回答） 100%			保護者アンケート（28名中26名回答） 93%			
		はい8名中	どちらともいえない	いいえ	はい26名中	どちらともいえない	いいえ	
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	2		22	4		①
	2 職員の配置数は適切であるか	8			25			②
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	1		19	6		③
業務改善	4 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8			/			
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	1					
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	1					
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	2					
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8						
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1		26			④
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	3		/			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	2					
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8						
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7		1	/			
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8						
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8						
16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8							
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8							
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	1						
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6	1	1					
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1		/				
21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7	1						
22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	2	1					

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	2					
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	1	1				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5			2			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	4	1	19	6	⑥
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	5	1	1				
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8				26		⑧
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	2	3				
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	1		26			⑦
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			25	1		⑨
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	4	3	5	19	2	⑩
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			24	2		⑪
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			26			⑬
	35	個人情報に十分注意しているか	8			26			⑭
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			26			⑫
非常時の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	3	2				
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8			25	1		⑮
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			25	1		⑯
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	1					
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	3					
満足度	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8						
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8						
		子どもは通所を楽しみにしているか				26			⑰
	事業所の支援に満足しているか				26			⑱	

2021年度改善目標に対する結果

検討項目	課題を踏まえた目標	達成手段	結果
1、4、9、11、12、20	<ul style="list-style-type: none"> 利用者や保護者が安心できる居場所を提供する。 利用者が興味を持ち、取り組めるプログラムの工夫。 	<ul style="list-style-type: none"> 遊びのコーナーをつくる。備品、設備の購入検討し環境を整える。 特性にあった教材づくりや、個別ニーズに合った活動プログラムを検討し実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しいマットやソファ、本棚、ハンモックなどを購入しレイアウトを替えた。玄関横には椅子に座って靴を脱ぎ履きできるコーナーや迎えを待つスペースもできた。本棚は大きさ別に収納しやすくなり、見たい本が探しやすくなった。 アートや運動あそびなどはレベル別で難度を変える等して提供した。運動のニーズが高い利用者に関してはなるべく散歩に出掛けられるようにした。 2022年度は目標を一部変更して継続する。
8、19、38、39	<ul style="list-style-type: none"> 職員が生き生きと働き、成長できるよう、マニュアル・手順書類のさらなる活用やその工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後等デイサービスのガイドライン、マニュアル・手順書類をいつでも活用できるよう整理、ファイル化、掲示する。 制度等について情報を共有する機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 書庫の整理ができたため、活用できるようなファイル作りをしたい。風水害対策ファイルを作成した。 5月の全体職員会議で放デイの仕組みやガイドラインについての説明ができた。
37	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人々との交流や連携をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域とのつながりを得て情報を収集する。 にじのこからの情報を発信するなどして、地域に知ってもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> 赤堤商店会に連絡し、仕組みや情報を伺った。にじのこの施設として入会が必要かどうかは検討中。 自治会の回覧板ににじのこの情報を載せていただいた。 2022年度は目標を一部変更して継続する。

〇以上の結果から、改善が必要だと思われる項目について検討しました。

▶2022年度の改善目標

検討項目	課題を踏まえた目標	達成手段	結果
4、5、9、14、20、28、29、30、31、32、33、38、39、41	<ul style="list-style-type: none"> 利用者が興味を持ち、取り組めるプログラムの工夫。 子どもの将来を見据えた支援の充実。 家族が安心できる場所づくり。 	<ul style="list-style-type: none"> 特性や個別ニーズ、年齢に合った活動プログラムを検討し実施する。 声掛けや接し方に留意し自己肯定感を高める支援する。 保護者支援の研修への参加。(きょうだい児、傾聴) 	<p>※今後の取り組みを経てから、結果を公表します。</p>
8、11、12、15、16、17、40、43	<ul style="list-style-type: none"> 職員が生き生きと働ける職場づくり。 職員一人一人が主体的に支援できるよう事業所全体で取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> 申し送りや振り返りの時間を有効活用する。 自ら気づき問題を提起して、小さなことでも共有する。 オンライン研修の活用、ケア会議の定期的な開催を行い、専門性を培う。 非常勤職員がそれぞれの強みを活かせるような業務分担や、プログラムリーダーの依頼を行う。 	<p>※今後の取り組みを経てから、結果を公表します。</p>
21、23、24、25、37	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人々との交流や他機関との連携。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の情報を収集する。 交流の一つの方法としてホームページ上に普段の様子を公開する。 学校との情報共有を密に行う。 近隣大学やボランティア協会ににじのこを知ってもらい、ボランティアや職員採用につながるような関係作りを行う。 	<p>※今後の取り組みを経てから、結果を公表します。</p>